（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	子育てサポートどんぐり

公表日　R8　年　2　月　27　日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・活動に応じて工夫出来ていると思う。 ・活動によって室内の環境配置を変えたり工夫している。	引き続き、限られたスペースではあるが、活動内容や環境配置を工夫していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・スタッフの人数配置によっては、スタッフ勤務を変更したり、他事業所に応援を要請し手伝いを貰ったりしています。	子どもの状況によっては、1対1で付かないといけない時があるのでバタつく時はある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	・ヒヤリハットを通して、子どもにあった環境の工夫をしている。 ・入口の階段には、手すりを装着している。	構造上難しい所もありますが、毎月のヒヤリハット検討を続け情報共有しながら、危険箇所がないかなどの定期点検も引き続き続けていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日、子どもの帰宅後に清掃し、危ない物や危険箇所はないかなども定期的に点検しています。	環境整備として、エアコンの清掃も定期的にしているが、中までは難しい為、業者依頼も検討していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	○		・気持ちが落ち着けるように、体調不良の際、個別で対応できるように、別途、部屋を設けています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・毎日、活動後の反省をしている。 ・計画を立てる際に、前回の反省を振り返り、個々にあった、ねらいや活動の参加の仕方を考えています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・評価集計後、職員間で話し合う機会を設け、情報共有したのち改善へ努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・会議等を開催し、その中で意見交換をし、改善へ努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・現在、行っていません。	第三者による外部評価も検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・外部研修に順次参加できるようにし、法人内研修・事業所内研修には、極力、全員参加に努めています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	○		・HPにて公表済です。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・保護者への面談、子どもへの本人確認を行い反映したものを作成しています。	更に、子どもや保護者のニーズや課題に即した支援計画となるようにアセスメントシートを作成し活用していきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・前回の支援目標の評価会議を行い、その上で、その子の今の様子から見えてくる支援内容を話し合った上で作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・支援計画のコピーをケース記録に添付し、いつでも見れるようにし、記録の際に、計画に沿っているか確認するようにしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・ケース記録等を用いている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・5領域を意識しながら作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・年間計画を基に、月計画を立て、その月のねらいに即して、計画を立てています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個々の発達段階に合わせて、友達や大人とのやり取りを大切にしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎朝、職員間で打ち合わせをし、その日のリーダーを中心に確認をしながら、よりより活動になるために助言も反映しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	○		・毎日、職員間で反省を含め、活動での個々の様子、気付いた点などを共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			日々の活動の反省時に、支援計画に基づいた内容を詳細に、職員間で共有できるようにしていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的にモニタリング・評価を行い、見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・基本的に、児童発達支援管理責任者が参画している。	時間や職員体制が整っている時には、より多くの職員が参加できるようにしていきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・担当者会議などを通して、連携出来ている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・担当者会議を実施出来ている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・移行支援シートを作成しています。	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	○		・研修会等に参加している。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	・公園で遊んでいる地域の子と関わる機会はある。	色々な事業所の交流機会を参考にしながら、取り入れられるところを検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時に直接話をしたり、お帳面に写真付きで伝えたりしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	・ペアトレは行っていないが、都度、相談等に対応している。	現在、資格者2名がいるので、今後、開催出来ないかを検討していきます。
保	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・定期的に面談を行い、説明をさせて頂いています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・送迎時、TEL、お帳面、LINE@等で行っている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・行事の中で保護者の交流の場を設けている。	・行事にて保護者同士の交流する時間を設けているが更に機会が増やしていけたらと思う。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			・対応の体制は出来ているが、適切に出来ているか再確認していく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月、通信を発行したり、定期的にHPを更新しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・写真掲載や名前記載については、事前に承諾書で確認をさせて頂いています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・視覚的にも分かりやすいように、写真やイラストを使用したり、再度、伝えなおしをしたりしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・避難訓練の際、近所の方に呼びかけのチラシを配布を始めたが、まだ浸透していないため引き続き、続けて行きたいと思う。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・避難訓練を実施し、LINE@や通信で保護者へ周知しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・今年度は、BCP研修を法人全体で行うことができました。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・毎年、児童票に記載して頂き、職員間で回覧し共有している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	・今のところ該当なし。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・ヒヤリハット検討会を実施し、安全に努めています。 ・感染症対策研修や救命救急など事業所内での研修を定期的に行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	○		・LINE@や通信などで、周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・小さな事でもヒヤリハットを書くように意識している。ヒヤリハット検討会も行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・研修報告を受けて、事業所内で検討する機会を設けています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○	・今のところ、該当なし。	・今後に備え、身体拘束防止についての研修は、事業所内で毎年行っているので、引き続き研修をしていきます。